

令和元年度 中学校「学習指導・評価計画表」 教科【社会】学年【1年】

関	社会的事象への関心・意欲・態度	『社会科の学習に興味を持ち、意欲的に取り組もうとしている。また努力をしている。』
思	社会的な思考・判断・表現	『広く社会に目を広げ、様々な事象を多面的に見て、自分の考えを表現できる。また公正な判断力を身につける。』
技	資料活用の技能	『資料に書かれていることを読み取り、理解することができる。指示に従って、作業が的確にできる。』
知	社会的事象についての知識・理解	『基本的な事項・用語を理解し、説明ができる。基礎的な知識を身につけ社会的事象を多面的にとらえられる。』

月	単 題 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
1 0 ・ 1 1	地理第1部 『世界の さまざまな 地域』	第3章『世界の諸地域』 6節 オセアニア州 1. オセアニア州の 自然環境 2. 移民の歴史と 多文化社会への歩み 3. 海外と結びついた オセアニアの産業	関	○世界の諸地域の地域的特色に 関心を持ち、そこに暮らす人々の 生活の様子をおおむね理解して いる。 ○諸地域の特色を示す資料から 必要な情報を収集することが 出来る。	◎世界の諸地域の地域的特色に 関心を持ち、そこに暮らす人々の 生活の様子を理解し、それぞれの 地域の持つ、課題について多角的 に考えることが出来る。 ◎諸地域の特色を示す資料から 必要な情報を収集し、それらを まとめ、表現することが出来る。	ワークシート まとめ・振り返り 班活動 小テスト 定期テスト レポート
	地理第1部 『世界の さまざまな 地域』	4. 強まるアジアとの 結びつき 1節 アジア州 1. アジア州の自然環境 2. 地域によって異なる アジアの農業や文化 3. 経済発展を急速に とげた中国 4. 自立の道を歩む 東南アジア 5. 産業の発展が急速に 進む南アジア 6. 資源が豊富な 西アジア・中央アジア	思	○世界の諸地域の地域的特色に 関心を持ち、そこに暮らす人々の 生活の様子をおおむね理解し、 課題を見いだし、その地域の 特色などを多面的・多角的に 考察し、公正に判断してその 過程や結果を適切に表現して いる。 ○諸地域の特色を示す資料から 必要な情報を収集することが 出来、課題を見いだし、その 地域の特色などを多面的・多 角的に考察し、公正に判断して その過程や結果を適切に表現 している。	◎世界の諸地域の地域的特色に 関心を持ち、そこに暮らす人々の 生活の様子を理解し、それぞれの 地域の持つ、課題を見いだし、その 地域の特色などを多面的・多角的 に考察し、より深く公正に判断して その過程や結果を適切に表現して いる。 ◎諸地域の特色を示す資料から 必要な情報を収集し、それらを まとめ、表現することが出来、そ れらの課題を見いだし、その地 域の特色などを多面的・多角的 に考察し、より深く公正に判断し てその過程や結果を適切に表現 している。	

1 0 1 1	地理第1部 『世界の さまざまな 地域』	第3章『世界の諸地域』 6節 オセアニア州 1. オセアニア州の 自然環境 2. 移民の歴史と 多文化社会への歩み 3. 海外と結びついた オセアニアの産業 4. 強まるアジアとの 結びつき 1節 アジア州 1. アジア州の自然環境 2. 地域によって異なる アジアの農業や文化 3. 経済発展を急速に とげた中国 4. 自立の道を歩む 東南アジア 5. 産業の発展が急速に 進む南アジア 6. 資源が豊富な 西アジア・中央アジア	技	○世界の諸地域の地域的特色に関心を持ち、そこに暮らす人々の生活の様子をおおむね理解し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ○諸地域の特色を示す資料から必要な情報を収集することが出来、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	○世界の諸地域の地域的特色に関心を持ち、そこに暮らす人々の生活の様子を理解し、それぞれの地域の持つ課題を見つけ、さまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、より深く読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ○諸地域の特色を示す資料から必要な情報を収集し、それらをまとめ、表現することが出来、地図と関連についての課題を見つけ、さまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、より深く読み取ったり図表などにまとめたりしている。	ワークシート まとめ・振り返り 班活動 小テスト 定期テスト レポート
		1. アジア州の自然環境 2. 地域によって異なる アジアの農業や文化 3. 経済発展を急速に とげた中国 4. 自立の道を歩む 東南アジア 5. 産業の発展が急速に 進む南アジア 6. 資源が豊富な 西アジア・中央アジア	知	○世界の諸地域の地域的特色に関心を持ち、そこに暮らす人々の生活の様子について理解し、資料などから日本の人口にかかわる問題について、背景を理解し、その知識を身につけている。 ○世界の諸地域の特色について理解し、資料などから世界の人口にかかわる問題について、背景を理解し、その知識を身につけている。	○世界の諸地域の地域的特色に関心を持ち、そこに暮らす人々の生活の様子を理解し、それぞれの地域の持つ課題についての課題を見つけ、その解決策を系統立てて説明できる知識を身につけている。 ○世界の諸地域の特色を示す資料からについての課題を見つけ、その解決策を系統立てて説明できる知識を身につけている。	
1 1 1 2	歴史第1編 『歴史の とらえ方』 歴史第2編 『古代まで の日本』	歴史の流れをふり返ろう 歴史をはかるものさし I 人類の始まりと文明 1. 人類の誕生 2. 世界の古代文明 3. 東アジアに広がる 中国の文明 4. 宗教のおこり II 日本列島の人々と 国家の形成 1. 日本人のルーツと 縄文時代 2. 稲作の広まりと 弥生時代	関	○西暦年と年号(元号)や日本の時代区分についておおむね理解している。 ○人類の出現、古代文明、日本列島の人々の生活の変化に関心を持ち、東アジア世界の動きと関連させて古代国家の歩みを理解しようとしている。 ○地理で学んだ世界三大宗教のおこりについて、理解している。	○西暦年と年号(元号)や日本の時代区分について正確に理解している。 ○人類の出現、古代文明、日本列島の人々の生活の変化を把握し、東アジア世界の動きと関連させて古代国家の歩みを正確に理解するとともに、東アジア世界の動きと関連させて古代国家の歩みを正確に理解している。 ○三大宗教のおこりについて理解し、現代社会への影響力についても考察することが出来る。	ワークシート まとめ・振り返り 班活動 小テスト 定期テスト レポート

月	単 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
1 1 ・ 1 2	歴史第1編 『歴史の とらえ方』 歴史第2編 『古代まで の日本』	歴史の流れをふり返ろう 歴史をはかるものさし I 人類の始まりと文明 1. 人類の誕生 2. 世界の古代文明 3. 東アジアに広がる 中国の文明 4. 宗教のおこり II 日本の原始時代 1. 日本人のルーツと 縄文時代 2. 稲作の広まりと 弥生時代	思	○西暦年と年号(元号)や日本の時代区分について、課題を見だし、その時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。 ○人類の出現, 古代文明, 日本列島の人々の生活の変化に関心を持ち, 東アジア世界の動きと関連させて古代国家の歩みについて、課題を見だし、その時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。 ○地理で学んだ世界三大宗教のおこりについて、課題を見だし、その時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。	◎西暦年と年号(元号)や日本の時代区分について、課題を見だし、その時代の特色などを多面的・多角的に考察し、より深く公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。 ◎人類の出現, 古代文明, 日本列島の人々の生活の変化を把握し, 東アジア世界の動きと関連させて古代国家の歩みを正確に理解するとともに, 東アジア世界の動きと関連させて古代国家の歩みについて、課題を見だし、その時代の特色などを多面的・多角的に考察し、より深く公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。 ◎三大宗教のおこりについて理解し、現代社会への影響力について、課題を見だし、その時代の特色などを多面的・多角的に考察し、より深く公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。	ワークシート まとめ・振り返り 班活動 小テスト 定期テスト レポート
				○西暦年と年号(元号)や日本の時代区分についてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめている。 ○人類の出現, 古代文明, 日本列島の人々の生活の変化に関心を持ち, 東アジア世界の動きと関連させて古代国家の歩みについてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめている。 ○地理で学んだ世界三大宗教のおこりについてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめている。	◎西暦年と年号(元号)や日本の時代区分についてについてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、より深く読み取ったり図表などにまとめている。 ◎人類の出現, 古代文明, 日本列島の人々の生活の変化を把握し, 東アジア世界の動きと関連させて古代国家の歩みを正確に理解するとともに, 東アジア世界の動きと関連させて古代国家の歩みについてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、より深く読み取ったり図表などにまとめている。 ◎三大宗教のおこりについて理解し、現代社会への影響力についてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、より深く読み取ったり図表などにまとめている。	

月	単 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
1 1 ・ 1 2	歴史第1編 『歴史の とらえ方』 歴史第2編 『古代まで の日本』	歴史の流れをふり返ろう 歴史をはかるものさし I 人類の始まりと文明 1. 人類の誕生 2. 世界の古代文明 3. 東アジアに広がる 中国の文明 4. 宗教のおこり II 日本の原始時代 1. 日本人のルーツと 縄文時代 2. 稲作の広まりと 弥生時代	知	○西暦年と年号(元号)や日 本の時代区分について、背 景を理解し、その知識を身 につけている。 ○人類の出現、古代文明、日本 列島の人々の生活の変化に関 心を持ち、東アジア世界の動き と関連させて古代国家の歩み について、背景を理解し、その 知識を身につけている。 ○地理で学んだ世界三大宗教の おこりについて、背景を理解し、 その知識を身につけている。	◎西暦年と年号(元号)や日本の 時代区分を世界的視野で背景を 理解し、系統立てて説明できる 知識を身につけている。 ◎人類の出現、古代文明、日本列 島の人々の生活の変化を把握 し、東アジア世界の動きと関連 させて古代国家の歩みを正確に 理解するとともに、東アジア世 界の動きと関連させて古代国家 の歩みを世界的視野で背景を 理解し、系統立てて説明できる 知識を身につけている。 ◎三大宗教のおこりについて理解し、 現代社会への影響力を世界的 視野で背景を理解し、系統立てて 説明できる知識を身につけている。	ワークシート まとめ・振り返り 班活動 小テスト 定期テスト レポート
1 ・ 2	歴史第2編 『古代まで の日本』	II 日本の原始時代 4. ヤマト王権と渡来人 5. 東アジアの統一国家 6. 律令国家めざして III 古代国家の展開 1. 奈良の都と律令制下 の暮らし 2. 国際色豊かな文化 3. 京都の都と摂関政治 4. 武士の登場 5. 文化の日本化	関	○大陸の文物や制度を取り入れ ながら国家の仕組みが整えら れたことに気づき、その後、天皇 や貴族中心の政治を目指した ことを考えることができる。 ○古代日本の文化が国際性を 持っていたということや、やがて、 文化が国風化したこと、聖徳太子 の政治、大化の改新、律令国家 の成立、摂関政治などの古代国 家が整っていくおおよその流れを とらえる。	◎大陸の文物や制度を取り入れて 国家の仕組みが整えられたこと に関心を持ち、その後、聖徳太 子の政治から、律令国家、その 後の天皇や貴族中心の政治が行 われた過程を系統立てて考え、 説明できる。 ◎古代日本の文化がもつ国際性 を、世界の動きと関連させて理解し やがて、平安時代の途中より文化 が国風化した背景も理解するとと もに、聖徳太子の政治、大化の改新、 律令国家の成立、摂関政治などの 古代国家の展開の流れを具体的に 説明できる。	ワークシート まとめ・振り返り 班活動 小テスト 定期テスト レポート
1 ・ 2	歴史第2編 『古代まで の日本』	II 日本の原始時代 4. ヤマト王権と渡来人 5. 東アジアの統一国家 6. 律令国家めざして IV 古代国家の展開 1. 奈良の都と律令制下 の暮らし 2. 国際色豊かな文化 3. 平安京 4. 摂関政治と国風文化 5. 武士の登場	思	○大陸の文物や制度を取り 入れながら国家の仕組み が整えられたことに気づき 、その後、天皇や貴族中心 の政治を目指したことにつ いて、課題を見だし、そ の時代の特色などを多面 的・多角的に考察し、公正 に判断してその過程や結 果を適切に表現している。 ○古代日本の文化が国際 性を持っていたということ や、やがて、文化が国風 化したこと、聖徳太子の政 治、大化の改新、律令国家 の成立、摂関政治などの 古代国家が整っていくお およその流れについて、課題 を見だし、その時代の特色な どを多面的・多角的に考察し 、公正に判断してその過程や 結果を適切に表現している。	◎大陸の文物や制度を取り入れて 国家の仕組みが整えられたこと に関心を持ち、その後、聖徳太 子の政治から、律令国家、その 後の天皇や貴族中心の政治が行 われた過程について、課題を見 だし、その時代の特色などを多 面的・多角的に考察し、より深 く公正に判断してその過程や結 果を適切に表現している。 ◎古代日本の文化がもつ国際性 を、世界の動きと関連させて理解し やがて、平安時代の途中より文化 が国風化した背景も理解するとと もに、聖徳太子の政治、大化の改新、 律令国家の成立、摂関政治などの 古代国家の展開について、課題 を見だし、その時代の特色など を多面的・多角的に考察し、より 深く公正に判断してその過程や結 果を適切に表現している。	ワークシート まとめ・振り返り 班活動 小テスト 定期テスト レポート

月	単元 題材	学習内容	観点	評価規準(B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
1 ・ 2	歴史第2編 『古代までの日本』	Ⅱ 日本の原始時代 4. ヤマト王権と渡来人 5. 東アジアの統一国家 6. 律令国家めざして Ⅲ 古代国家の展開 1. 奈良の都と律令制下の暮らし 2. 国際色豊かな文化 3. 平安京 4. 摂関政治と国風文化 5. 武士の登場	技	○大陸の文物や制度を取り入れながら国家の仕組みが整えられたことに気づき、その後、天皇や貴族中心の政治を目指したことについてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ○古代日本の文化が国際性を持っていたということや、やがて、文化が国風化したこと、聖徳太子の政治、大化の改新、律令国家の成立、摂関政治などの古代国家が整っていくおおよその流れについてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	◎大陸の文物や制度を取り入れて国家の仕組みが整えられたことに関心を持ち、その後、聖徳太子の政治から、律令国家、その後の天皇や貴族中心の政治が行われた過程についてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、より深く読み取ったり図表などにまとめたりしている。 ◎古代日本の文化がもつ国際性を、世界の動きと関連させて理解しやがて、平安時代の途中より文化が国風化した背景も理解するとともに、聖徳太子の政治、大化の改新、律令国家の成立、摂関政治などの古代国家の展開の流れについてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、より深く読み取ったり図表などにまとめたりしている。	ワークシート まとめ・振り返り 班活動 小テスト 定期テスト レポート
			知	○大陸の文物や制度を取り入れながら国家の仕組みが整えられたことに気づき、その後、天皇や貴族中心の政治を目指したことについて、背景を理解し、その知識を身につけている。 ○古代日本の文化が国際性を持っていたということや、やがて、文化が国風化したこと、聖徳太子の政治、大化の改新、律令国家の成立、摂関政治などの古代国家が整っていくおおよその流れについて、背景を理解し、その知識を身につけている。	◎大陸の文物や制度を取り入れて国家の仕組みが整えられたことに関心を持ち、その後、聖徳太子の政治から、律令国家、その後の天皇や貴族中心の政治が行われた過程を世界的視野で背景を理解し、系統立てて説明できる知識を身につけている。 ◎古代日本の文化がもつ国際性を、世界の動きと関連させて理解しやがて、平安時代の途中より文化が国風化した背景も理解するとともに、聖徳太子の政治、大化の改新、律令国家の成立、摂関政治などの古代国家の展開の流れを世界的視野で背景を理解し、系統立てて説明できる知識を身につけている。	
2 ・ 3	歴史第3編 『中世の日本』	Ⅰ 鎌倉幕府の成立 1. 院と平氏の政治 2. 武家政治の始まり 3. 鎌倉時代の人々の暮らし 4. 鎌倉の文化と仏教 5. 元の襲来と鎌倉幕府 Ⅱ 室町幕府と下克上 1. 南北朝の内乱と室町幕府 2. 東アジアとの交流 3. 産業の発展と都市と村 4. 応仁の乱と戦国大名 5. 室町時代の文化とその広がり	関	○武士が台頭して、支配力を広げていった様子をおおむね理解している。 ○元寇が幕府政治に及ぼした影響、建武の新政から南北朝の動乱に至る過程についておおよその流れをとらえる。 ○室町幕府の政治的特色とその政治が不安定なものであったこと、応仁の乱をきっかけに戦国の世へ移行していく歴史の流れをおおむね理解し、その動乱の様子を地図や文献資料を活用して考えることができる。 ○公家と武家の文化の融合についておおむね理解できる。それらの文化が、現代の日本の生活に受け継がれていることを考える。	◎武士の台頭から政権が誕生し、武士の支配が全国に広まっていったようすを幕府と朝廷の関係を含めて理解し、説明できる。 ◎元寇が幕府政治に及ぼした影響、建武の新政から南北朝の動乱に至る過程を系統立てて考え、正確に説明できる。 ◎室町幕府の政治的特色とその政治が不安定なものであったこと、応仁の乱をきっかけに戦国の世へ移行していく歴史の流れを正確に理解し、動乱の様子を地図や文献資料を活用して考え、説明できる。 ◎公家と武家の文化の融合について理解するとともに、民衆に支えられた中世の文化の特色について理解する。それらの文化が、現代の日本の生活上に受け継がれ、伝統となっていることを考え、説明できる。	ワークシート まとめ・振り返り 班活動 小テスト 定期テスト レポート

月	単 題 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
2 ・ 3	歴史第3編 『中世の 日本』	I 鎌倉幕府の成立 1. 院と平氏の政治 2. 武家政治の始まり 3. 鎌倉時代の人々の くらし 4. 鎌倉の文化と仏教 5. 元の襲来と鎌倉幕府 II 室町幕府と下克上 1. 南北朝の内乱と 室町幕府 2. 東アジアとの交流 3. 産業の発展と 都市と村 4. 応仁の乱と戦国大名 5. 室町時代の文化と その広がり	思	<p>○武士が台頭して、支配力を広げていった様子について、課題を見だし、その時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。</p> <p>○元寇が幕府政治に及ぼした影響、建武の新政から南北朝の動乱に至る過程について、課題を見だし、その時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。</p> <p>○室町幕府の政治的特色とその政治が不安定なものであったこと、応仁の乱をきっかけに戦国の世へ移行していく歴史の流れについて、課題を見だし、その時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。</p> <p>○公家と武家の文化の融合れについて、課題を見だし、その時代の特色などを多面的・多角的に考察し、公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。</p>	<p>◎武士の台頭から政権が誕生し、武士の支配が全国に広まっていったようすを幕府と朝廷の関係について、課題を見だし、その時代の特色などを多面的・多角的に考察し、より深く公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。</p> <p>◎元寇が幕府政治に及ぼした影響、建武の新政から南北朝の動乱に至る過程について、課題を見だし、その時代の特色などを多面的・多角的に考察し、より深く公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。</p> <p>◎室町幕府の政治的特色とその政治が不安定なものであったこと、応仁の乱をきっかけに戦国の世へ移行していく歴史の流れについて、課題を見だし、その時代の特色などを多面的・多角的に考察し、より深く公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。</p> <p>◎公家と武家の文化の融合について、課題を見だし、その時代の特色などを多面的・多角的に考察し、より深く公正に判断してその過程や結果を適切に表現している。</p>	ワークシート まとめ・振り返り 班活動 小テスト 定期テスト レポート
			技	<p>○武士が台頭して、支配力を広げていった様子をおおむね理解している。</p> <p>○元寇が幕府政治に及ぼした影響、建武の新政から南北朝の動乱に至る過程についてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>○室町幕府の政治的特色とその政治が不安定なものであったこと、応仁の乱をきっかけに戦国の世へ移行していく歴史の流れについてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>○公家と武家の文化の融合についてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	<p>◎武士の台頭から政権が誕生し、武士の支配が全国に広まっていったようすを幕府と朝廷の関係についてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、より深く読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>◎元寇が幕府政治に及ぼした影響、建武の新政から南北朝の動乱に至る過程についてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、より深く読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>◎室町幕府の政治的特色とその政治が不安定なものであったこと、応仁の乱をきっかけに戦国の世へ移行していく歴史の流れについてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、より深く読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p> <p>◎公家と武家の文化の融合について理解するとともに、民衆に支えられた中世の文化の特色についてさまざまな資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、より深く読み取ったり図表などにまとめたりしている。</p>	

月	単 題 元 材	学 習 内 容	観 点	評 価 規 準 (B) おおむね満足	判断の基準 AとBの違いなど	評価方法 場面・時期
2 ・ 3	歴史第3編 『中世の 日本』	I 鎌倉幕府の成立 1. 院と平氏の政治 2. 武家政治の始まり 3. 鎌倉時代の人々のくらし 4. 鎌倉の文化と仏教 5. 元の襲来と鎌倉幕府 II 室町幕府と下克上 1. 南北朝の内乱と室町幕府 2. 東アジアとの交流 3. 産業の発展と都市と村 4. 応仁の乱と戦国大名 5. 室町時代の文化とその広がり	知	○武士が台頭して、支配力を広げていった様子について、背景を理解し、その知識を身につけている。 ○元寇が幕府政治に及ぼした影響、建武の新政から南北朝の動乱に至る過程について、背景を理解し、その知識を身につけている。 ○室町幕府の政治的特色とその政治が不安定なものであったこと、応仁の乱をきっかけに戦国の世へ移行していく歴史の流れについて、背景を理解し、その知識を身につけている。 ○公家と武家の文化の融合について、背景を理解し、その知識を身につけている。	◎武士の台頭から政権が誕生し、武士の支配が全国に広まっていったようすを幕府と朝廷の関係を世界的視野で背景を理解し、系統立てて説明できる知識を身につけている。 ◎元寇が幕府政治に及ぼした影響、建武の新政から南北朝の動乱に至る過程を世界的視野で背景を理解し、系統立てて説明できる知識を身につけている。 ◎室町幕府の政治的特色とその政治が不安定なものであったこと、応仁の乱をきっかけに戦国の世へ移行していく歴史の流れを世界的視野で背景を理解し、系統立てて説明できる知識を身につけている。 ◎公家と武家の文化の融合について理解するとともに、民衆に支えられた中世の文化の特色を世界的視野で背景を理解し、系統立てて説明できる知識を身につけている。	ワークシート まとめ・振り返り 班活動 小テスト 定期テスト レポート

